



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社 コロワイド 上場取引所 東  
 コード番号 7616 URL http://www.colowide.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野尻 公平  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 久松 寛 TEL 045-274-5970  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	36,231	46.3	1,158	96.9	842	92.2	△155	—
25年3月期第1四半期	24,763	3.9	588	△46.2	438	△58.1	△138	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △54百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △227百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△2.79	—
25年3月期第1四半期	△2.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	134,737	22,655	14.4	177.08
25年3月期	135,477	23,424	14.8	184.73

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 19,343百万円 25年3月期 20,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

上記「配当の状況」は普通株式にかかる配当状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「優先株式の配当状況」をご覧ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,129	48.2	2,458	326.0	1,509	798.2	△390	—	△6.64
通期	150,950	17.6	7,224	63.0	5,347	55.2	1,500	△6.7	17.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	75,284,041株	25年3月期	75,284,041株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	236,348株	25年3月期	233,948株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	75,048,849株	25年3月期1Q	75,058,273株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 優先株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

### 優先株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3,440,710 00	3,440,710 00
26年3月期 (予想)	—	—	—	3,349,170 00	3,349,170 00
第2回優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	3,940,710 00	3,940,710 00
26年3月期 (予想)	—	—	—	3,849,170 00	3,849,170 00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末に誕生した新政権の経済政策及び金融緩和策に対する期待感から円高是正並びに株式市場の活性化が進行し、景況感は徐々に明るさを増してまいりました。しかしながら、円安の影響による輸入物価の上昇や所得環境の改善の遅れ、アジア経済の減速などにより、景気の先行きに関しましては、まだ不透明感が払拭しきれない状況にあります。

外食産業におきましては、「安さ」よりも商品やサービスの「質」を重視し、高額でも許容する消費傾向が見られるようになりました。しかしながら、全般的には消費者は冷静に価値を見極めて選択する堅実志向が強く、市場規模が拡大しない中で同業他社や中食に代表される異業種との熾烈な競争が深まるなど、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは「すべてはお客様のために」をモットーにQSCAをより一層高めることに注力し、お客様に「楽しかった、美味しかった」と喜んでいただけるよう努めております。また、店舗の改装・改修や業態転換、業態集約を前倒して行うと共に、首都圏の居酒屋業態を中心に不採算店舗の閉鎖を進めました。

コスト面では、食材調達と商品開発との連携強化及び食材の集約化、仕入価格の低減、内製化率の向上などを継続的に行い原価率抑制を図ってまいりました。更に、費用対効果を見極めたコスト管理や店舗におけるワークスケジュール管理の徹底を継続的に実施し、販売費及び一般管理費の抑制にも取り組んでおります。尚、神奈川工場内に設置した完全密閉型水耕栽培施設において生産した無農薬バジルは、ジェノベーゼソース並びにバジルドレッシングの形で全国の店舗に、無農薬ルッコラは葉の形で首都圏の店舗に、それぞれ供給しております。

店舗政策につきましては、直営店舗を10店舗新規出店し16店舗閉鎖いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は1,082店舗となっております。尚、FC店舗を含めた総店舗数は2,117店舗となっております。

以上のような施策を図ってまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、連結売上高は362億31百万円、連結営業利益は11億58百万円、連結経常利益は8億42百万円となりました。また、繰延税金資産の取崩し等の影響で、連結四半期純損失は1億55百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上高につきましては、㈱コロナ東日本126億8百万円、㈱アトム101億42百万円、㈱レイズインターナショナル120億11百万円、その他19億43百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高等を考慮しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億39百万円減少し、1,347億37百万円となりました。これは主に現金及び預金が27億13百万円増加したものの、売掛金が11億65百万円及びのれんが6億28百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、1,120億82百万円となりました。これは主に長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が11億76百万円減少したものの、短期借入金が14億70百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億68百万円減少し、226億55百万円となりました。これは主に利益剰余金が7億52百万円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュフローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが39億87百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△6億27百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△6億58百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ27億10百万円増加し、173億81百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益、減価償却費及びのれん償却額の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入れによる収入があるものの、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年4月30日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,797	17,510
売掛金	5,461	4,295
たな卸資産	2,386	2,400
その他	5,880	5,597
貸倒引当金	△87	△28
流動資産合計	28,437	29,775
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	26,635	26,548
その他(純額)	14,281	14,068
有形固定資産合計	40,917	40,617
無形固定資産		
のれん	30,655	30,026
その他	9,940	9,729
無形固定資産合計	40,595	39,756
投資その他の資産		
敷金及び保証金	19,074	18,827
その他	6,597	5,915
貸倒引当金	△475	△463
投資その他の資産合計	25,196	24,278
固定資産合計	106,709	104,652
繰延資産	329	310
資産合計	135,477	134,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,748	9,359
短期借入金	450	1,920
1年内返済予定の長期借入金	12,140	11,916
未払法人税等	727	389
引当金	819	809
その他	14,279	14,836
流動負債合計	38,165	39,231
固定負債		
社債	13,981	13,931
長期借入金	43,020	42,067
引当金	3	1
店舗改修工事等引当金	1,390	1,351
資産除去債務	1,712	1,732
その他	13,778	13,765
固定負債合計	73,887	72,850
負債合計	112,053	112,082
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,030	14,030
資本剰余金	5,739	5,739
利益剰余金	469	△282
自己株式	△135	△137
株主資本合計	20,103	19,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38	△28
為替換算調整勘定	20	22
その他の包括利益累計額合計	△17	△5
少数株主持分	3,338	3,312
純資産合計	23,424	22,655
負債純資産合計	135,477	134,737



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	24,763	36,231
売上原価	7,464	14,706
売上総利益	17,298	21,525
販売費及び一般管理費	16,709	20,366
営業利益	588	1,158
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	11	12
不動産賃貸料	135	113
貸倒引当金戻入額	5	70
協賛金収入	106	4
その他	47	104
営業外収益合計	314	316
営業外費用		
支払利息	234	400
社債利息	64	67
賃貸収入原価	107	85
その他	57	78
営業外費用合計	464	632
経常利益	438	842
特別利益		
受取補償金	48	159
補助金収入	76	—
その他	—	0
特別利益合計	124	159
特別損失		
固定資産売却損	4	113
固定資産除却損	162	158
減損損失	98	12
その他	38	96
特別損失合計	303	381
税金等調整前四半期純利益	259	620
法人税、住民税及び事業税	219	336
法人税等調整額	158	344
法人税等合計	378	681
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△118	△60
少数株主利益	20	95
四半期純損失(△)	△138	△155

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△118	△60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	△3
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△6	9
その他の包括利益合計	△108	5
四半期包括利益	△227	△54
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△231	△143
少数株主に係る四半期包括利益	4	88

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	259	620
減価償却費	1,197	1,304
その他の償却額	83	329
のれん償却額	304	628
受取利息及び受取配当金	△18	△23
支払利息及び社債利息	299	468
固定資産売却損益(△は益)	4	113
固定資産除却損	162	158
減損損失	98	12
売上債権の増減額(△は増加)	253	1,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	△195	△14
仕入債務の増減額(△は減少)	△394	△383
その他	△373	342
小計	1,682	4,717
利息及び配当金の受取額	10	23
補助金の受取額	132	56
利息の支払額	△145	△139
法人税等の支払額	△540	△669
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,139	3,987
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,272	△1,138
有形固定資産の売却による収入	57	535
敷金及び保証金の差入による支出	△201	△142
敷金及び保証金の回収による収入	164	287
その他	△303	△169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,554	△627
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,855	1,920
短期借入金の返済による支出	△375	△450
長期借入れによる収入	1,750	250
長期借入金の返済による支出	△1,030	△1,426
社債の発行による収入	1,859	—
社債の償還による支出	—	△49
配当金の支払額	△529	△531
少数株主への配当金の支払額	△65	△98
その他	△185	△271
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,279	△658
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,855	2,710
現金及び現金同等物の期首残高	5,581	14,670
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	93	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,530	17,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。